



TITLE:

[12月24日 講義 境界を超える地域情報] 質疑応答

AUTHOR(S):

アドゥル ムザキル; サイフディン; リザルル アクバル;
柳澤, 雅之; エルディナ ファティマ; フェブリン;
フィルダウス; 西, 芳実; #ja:8

CITATION:

アドゥル ムザキル ...[et al]. [12月24日 講義 境界を超える地域情報] 質疑応答. CIAS discussion paper No.25 : 災害遺産と創造的復興 : 地域情報学の知見を活用して 2012, 25: 148-149

ISSUE DATE:

2012-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228484>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

質疑応答

アドゥル・ムザキル 柳澤先生のご発表ではジャワ人の移住の話が出ていましたが、ジャワ人はなぜその土地に移住することになったのでしょうか。なにか要因があったのでしょうか。

サイフディン(シアクアラ大学大学院防災学専攻学生会長) 柳澤先生のご発表で、高谷好一先生が足で歩いてたくさん情報を集めていたことが興味深かったです。実際に高谷先生はどのくらいの期間をかけてデータを収集されたのでしょうか。

リザルル・アクバル(気象気候地球物理庁(BMKG)バシラアチェ支局) 柳澤先生に質問です。地点情報と空間情報の違いをもう一度教えてください。

■ 地点情報＝一つの場所の情報

空間情報＝一定の空間を範囲とした情報

柳澤雅之 移住の話ですが、インドネシアのトランス・ミグラシ(国策移住)で、当時はスマトラの南の方の低地はまだたくさん森が残っていて、そこを開拓して移住していったそうです。

高谷先生が自分の足で歩いた調査期間については、すごたくさんさんの地域に行っています。インドネシアは東ティモールからスマトラまで主だった全ての島に行っています。スマトラだけでも数回訪れていま

す。スライドでお見せした調査行では、1978年の9月4日から10月30日までの2か月ほどを南スマトラで過ごしています。

地点情報と空間情報との違いの例を挙げます。地点情報は一つの場所の情報です。たとえばある場所に水車小屋があるとしたら、その水車小屋にどのような水車があるかというのが一つの場所にある情報です。これを地点情報と呼んでいます。それに対して空間情報は、州とか県とか、もう少し小さな範囲でもよいですが、空間を範囲とした情報のことをいっています。

■ 西スマトラの復興が

充分に進んでいない事実をどう考えるか

エルディナ・ファティマ フィルダウスさんに質問です。西スマトラで災害リスク・マップを作成するとき、アチェでは州開発計画局のデータを使っていますが、西スマトラ州ではどうでしょうか。また、最後に法令の話をしていました。アチェでは地図の作成に関する法律が州知事から出されていますが、西スマトラ州ではどうでしょうか。

アドゥル・ムザキル フェブリンさんとフィルダウスさんに質問です。法律はあっても執行されなければ意味がありません。復興がまだ十分に進んでいないことについてどう思いますか。

フェブリン 地図作成の責任者は州の災害対策局です。本来そうあるべきですが、キャパシティも限られているので、実際には大学やNGOがサポートしています。具体的には、災害対策計画フォーラムがつくられて、そこに大学やNGOが関わって、力のある人が地図を作成しています。将来的には州の災害対策局が先頭に立つて行すべきだと思います。災害対策計画については、県・市ごとに計画をつくるように州からいわれています。実際につくるのは州ではなくそれぞれの市や県です。

西スマトラ州の復興について質問がありましたが、建物もまだ修復されていないものがあります。それは、資金や支援の不足が一つの要因です。そのほかにも、地震があつて援助が入って以降、互いに助けあう習慣があまり見られなくなったことも要因の一つです。また、自分たちで建てなおすとその後の援助がなくなるから建てなおさずにいるという状況も見られます。

以前、私たちの地域の家はすべて安全でした。木でできていたためです。最近はレンガなどを使っています。レンガを使ってどのように安全な建物をつくるの



1日目に災害リスク・マップについてレクチャーに立ったエルディナ・ファティマ氏からも質問があり、情報の共有がなされた

かを技術として教える必要があります。

フィルダウス 地方レベルでも災害対策局の部署が作られています。南スラウェシ州では24県のうち10県で作られています。

■ 使い手のニーズに沿って柔軟に使える 仕組みをめざす情報マッピング・システム

エルディナ・ファティマ 西さんに質問です。データベースの説明をしていただきましたが、どのような情報を最初に押さえればよいのか、情報の優先順位があれば教えてください。

アドウル・ムザキル 西先生に質問です。ウェブサイトに載せる情報で、これから追加できる情報にはどのようなものがありますか。それから、新聞記事は『コンパス』の記事が取りあげられていましたが、アチェの地元の新聞の情報も載せることができるでしょうか。

西芳実 今日の発表でお見せした新聞や情報は限られたものですが、これはもともとシステムをつくっているものです。システムにはどんな情報も入れられる

ように設計しています。ウェブ上の情報では、かならず年月日と場所に関する情報がつけられている必要があります。この二つの種類の情報がきちんとつけられていれば、原理的にはすべての情報を地図上に載せることができます。

ですから、みなさんが「こんな情報があったらいいのではないか」、「こんな情報を入れてほしい」ということがありましたら、ぜひ情報のかたちを整えたうえで提供してください。そうすれば、このシステムを自由に使うことができます。

また、どの情報を優先的に載せるのか、あるいはどのテーマを優先的に扱うのかというご質問がありましたが、システム自体として優先順位は決めません。暫定的に私たちが決めているカテゴリで分類していますが、自由に検索できる仕組みもあります。このシステムは作り手である私たちが何らかのメッセージを伝えたいと思って作っているのではなく、使い手によって柔軟に使える仕組みをめざしています。